

# SystemDirector Enterprise for Batch 環境負荷評価モデル

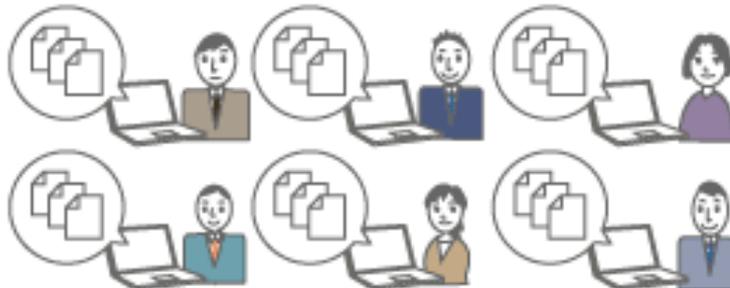
バッチ系システムを開発するプロジェクトにおいて、従来ソースコードや設計書を手書きしていた。本ツールの適用によって、ツールのGUIに設計情報を登録することで、ソースコードや設計書を自動生成することができます。特にバッチ系システムでは定型的な処理が多いため、自動生成できるソース行が多く、また統一感のとれた成果物がえられるため、保守性も向上します。

## SystemDirector Enterprise for Batch 導入前

- 36人が、毎日通勤する。



- 36人が1日8時間のコーディング作業を行う。
- 全ソース5000ページを、月2回レビューする



## SystemDirector Enterprise for Batch 導入後

- 16人が、毎日通勤する。



人移動の削減

- 16人が1日8時間のコーディング作業を行う。
- 全ソース5000ページを、月1.6回レビューする



物保管の削減  
機器使用の削減  
紙使用の削減

- Studio管理サーバを導入する

# SystemDirector Enterprise for Batch 環境負荷評価結果

SystemDirector Enterprise for Batch導入により、CO<sub>2</sub>排出量を約54%削減

